

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	S.T	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	4年	派遣国	ベルギー
派遣大学	ルーヴァンカトリック大学 サンルイ・ブリュッセル校		
期間	2022年 9月 6日～ 2023年 6月 30日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮					
部屋	個室					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (91881) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (2) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	15000 円	自炊(食材)
学用品購入費	0 円	
交通費	10000 円	観光、旅行時の交通費
交際費	20000 円	友人と外食、観光
その他	40000 円	旅行費等()
合計	85000 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

観光地のため、観光客が多い。治安はあまり良くない。ホームレスが多い。学校から北側へ行くと、治安が悪いと言われているブリュッセル北駅がある。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学		
加入期間	11 ヶ月間	保険料	(125,230) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (ブリュッセル)

ベルギーの首都ブリュッセルは、世界各地から人々が集まる非常に国際色の豊かな都市で、世界遺産のグランプラスや小便小僧などベルギーで有名な観光スポットも多く存在する。オランダ語圏のフランデレン地域に位置しながら、フランス語とオランダ語が公用語とされているブリュッセルだが、フランス語を話す人が多い印象を受ける。また、英語は基本どこでも通じる。EU や NATO の本部がおかれ、ヨーロッパの政治の中心地としても名高く知られている。こうした国際機関で働く人たちが集まるブリュッセルでは、レセプションやパーティーが頻繁に開催され、バーやレストランも毎晩賑わっている。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ルーヴァンカトリック大学 サンルイ・ブリュッセル校	所在地	Bd du Jardin Botanique43, 1000 Bruxelles, Belgium
最寄空港	Brussels Airport	空港からの距離	11km
空港⇄大学	(電車で18分→徒歩13分、 大学付近のバス停から空港最寄りのバス停まで1本(約40分)で行くことのできるバスが出ている。) *移動手段		
学生数	4213	留学生数	
学部	<ul style="list-style-type: none"> ・ The Faculty of Philosophy, Languages & Literatures, and Human Sciences ・ The Faculty of Law ・ The Faculty of Economics, Social and Political Sciences and Communication ・ The Marie Haps Faculty of Translation and Interpreting <p style="text-align: right;">*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。</p>		
学部/専攻	<p>Political Science</p> <p style="text-align: right;">*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。</p>		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(1)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		<ul style="list-style-type: none"> Sem. International and European organization 	<ul style="list-style-type: none"> French for Erasmus (beginner) 		
午後	<ul style="list-style-type: none"> International relations English for Erasmus (Intermediate) 				

② (2)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前			Belgian Politics		Society & Environment
午後	English for Erasmus (Advanced)	French for Erasmus (intermediate)			

3. 履修内容

科目	Seminar in International and International Organization		
履修期間	1 セメスター (9月~1月)	単位数	ECTS: 5
授業内容/形態	留学生向けの授業で、EUの歴史や特徴について学ぶ。全授業のうち半分が校外授業またはゲスト講師によるオンライン授業となっており、校外授業では希望者のみ欧州議会やEU博物館の見学に参加できる。教室で行われる一斉授業では、グループワークやディベート、ディスカッションへの積極的な参加が求められる		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	European Culture in English	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	English for Erasmus students (Intermediate)		
履修期間	1 セメスター (9月~1月)	単位数	ECTS: 5
授業内容/形態	留学生向けの英語の授業。身近なトピックに関するビデオを見たり、プレゼンテーションを行ったりすることで、リスニングやスピーキング力を身につける。期末のテストは無く、課題の提出や授業内での個人・グループプレゼンテーション、インタビューレポートで成績が決まる。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	特別講義 (留学科目・共通教養 A)	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	French for Erasmus students (beginner)		
履修期間	1 セメスター (9月~1月)	単位数	ECTS: 5
授業内容/形態	フランス語初級者向けの授業。フランス語の発音から、読み、文法まで全て基礎から学ぶことができる。日常で使える実用的なフランス語が学べ、少人数のため質問がしやすく和やかな雰囲気での授業が行われている。学校で用意されるシラバスを購入し、シラバスに載っている練習問題を解きながら文法を学ぶ。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	特別講義 (留学科目・共通教養 B)	
	単位数	2	

	担当教員	
--	------	--

科目	International Relations		
履修期間	1 セメスター (9 月～1 月)	単位数	ECTS: 5
授業内容／形態	これまでに起こった国際関係に関する出来事や歴史にフォーカスし、国際関係におけるアクターや利害関係を理解する上で重要となる概念や理論について学ぶ。毎回の授業の前に英文記事を読み、理解してくる Reading の予習が課される。期末の筆記テスト 50%、レポート提出 50% の割合で成績がつけられる。		
成績	F		
YCU 振替予定	科目	—	
	単位数		
	担当教員		

科目	Introduction to Belgian politics		
履修期間	2 セメスター (2 月～6 月)	単位数	ECTS: 5
授業内容／形態	留学生向けのセミナー授業。ベルギーの政治制度の特徴やベルギー制度の歴史的発展について学ぶ。世界各国に存在する政治制度や政治体制と比較し、多言語国家ベルギーの特有な政治システムについて理解を深める。講師はベルギー人の男性で、彼の経験をもとに、様々な例を用いて分かりやすく説明してくれる。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	—	
	単位数		
	担当教員		

科目	Society and Environment		
履修期間	2 セメスター (2 月～6 月)	単位数	ECTS: 5
授業内容／形態	この授業は、社会的な利害関係や政治的な影響を大きく受ける環境問題について、これまで人類がどのように環境問題に取り組み、研究してきたかを見ていく。環境の社会的・政治的性質を明らかにするのに役立つ古典、テキスト、理論、研究などを用いて、今日の環境問題についての議論や分析において、自分の立ち位置をよりよく見出すことをめざす。		
成績	E		

YCU 振替予定	科目	環境経済学
	単位数	2
	担当教員	二宮 浩輔

科目	English for Erasmus students (Advanced)		
履修期間	2 セメスター (2月~6月)	単位数	ECTS: 5
授業内容/形態	留学生向けの英語の授業。身近なトピックに関するビデオを見たり、プレゼンテーションを行ったりすることで、リスニングやスピーキング力を身につける。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	特別講義 (留学科目・共通教養 C)	
	単位数		
	担当教員		

科目	French for Erasmus students (Intermediate beginner)		
履修期間	2 セメスター (2月~6月)	単位数	ECTS: 5
授業内容/形態	フランス語初級者の 1 つ上のクラス。解説は英語で行われ、少人数のため質問がしやすく和やかな雰囲気での授業となっている。講師が作成したシラバスをプリントし毎回の授業で配布してくれるため、教科書購入の必要はない。プリントに載っている練習問題を解きながら文法を学ぶ。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	特別講義 (留学科目・共通教養 D)	
	単位数	2	
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	S.T	学部・学科	国際教養学部
学 年	4 年	派遣国	ベルギー
派遣大学	ルーヴァンカトリック大学 サンルイ・ブリュッセル校		
期 間	2022 年 9 月 6 日～ 2023 年 6 月 30 日		
プログラム	交換留学プログラム		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	Seminar in International and International Organization
講義内容	留学生向けの授業で、EU の歴史や特徴について学ぶ。全授業のうち半分が study visit またはゲスト講師によるオンライン授業となっており、study visit では希望者のみ欧州議会や EU 博物館の見学に参加できる。教室で行われる一斉授業では、グループワークやディベート、ディスカッションへの積極的な参加が求められる。
科目	Introduction to Belgian politics
講義内容	留学生向けのセミナー授業。ベルギーの政治制度の特徴やベルギー制度の歴史的発展について学ぶ。世界各国に存在する政治制度や政治体制と比較し、多言語国家ベルギーの特有な政治システムについて理解を深める。講師はベルギー人の男性で、彼の経験をもとに、様々な例を用いて分かりやすく説明してくれる。
科目	Society and Environment
講義内容	この授業は、社会的な利害関係や政治的な影響を大きく受ける環境問題について、これまで人類がどのように環境問題に取り組み、研究してきたかを見ていく。環境の社会的・政治的性質を明らかにするのに役立つ古典、テキスト、理論、研究などを用いて、今日の環境問題についての議論や分析において、自分の立ち位置をよりよく見出すことをめざす。
科目	International Relations
講義内容	これまでに起こった国際関係に関する出来事や歴史にフォーカスし、国際関係におけるアクターや利害関係を理解する上で重要となる概念や理論について学ぶ。
科目	English for Erasmus students
講義内容	留学生向けの英語の授業。身近なトピックに関するビデオを見たり、プレゼンテーションを行ったりすることで、リスニングやスピーキング力を身につける。

科目	French for Erasmus students
講義内容	フランス語の発音から、読み、文法まで全て基礎から学ぶことができる。日常で使える実用的なフランス語が学べ、少人数のため質問がしやすく和やかな雰囲気で行われている。学校で用意されるシラバスを購入し、シラバスに載っている練習問題を解きながら文法を学ぶ。

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

今回のベルギー留学はこれまでで最も濃い一年だったと感じるほど、毎日が挑戦、学びの日々でした。初めてのヨーロッパでの生活は、分からないことだらけでしたが、私の留学先であるルーヴァン・カトリック大学はたくさんの交換留学生在が世界各国から訪れるため、生徒同士助け合いながら日々生活していました。言語に関しては、初めは周りの留学生の高い英語力に圧倒され、萎縮してしまうこともありましたが、ゆっくりでも話そうと努力すれば、周りは自分の話に耳を傾けてくれ、興味を持ってくれたため、次第に自信がついてきました。また、ヨーロッパでは、英語を第二、第三言語とする人々が多く、英語の発音に関しても上手い下手など気にする必要がなく、のびのびと学習できました。

そして、今回の留学生生活は「ベルギー」という国にとっても愛着が湧いた1年でもありました。もともと、ベルギーは私の第一希望の留学先では無く、渡航時はベルギーという国に関してほぼ無知の状態でした。しかし、ベルギーは想像していた以上に面白い国で、知れば知るほど魅力のある素敵な国でした。私の住んでいた首都ブリュッセルは世界中から人が集まる非常に国際的な街で、様々な人種の人々が様々な言語を話しています。そのため、自分をマイノリティーだと感じることもなく、暮らし心地がよかったです。そして、そのような多文化共生の社会で暮らすベルギー人は多様な価値観を受け入れられる寛容な国民性を持っている印象を受けました。また、3ヶ国語を公用語とするベルギーでは、人々の語学力が非常に高く、3つ以上の言語を使いこなす人にも多く出会いました。島国の日本とベルギーでは環境が大きく異なりますが、日本でも日常的にもっと他言語に触れられる機会が増えれば良いと感じました。そしてこれからのグローバル時代、豊かな語学力や異文化への理解を持つベルギー人から、日本人が学ぶべき点は沢山あると思います。

今回、このような素敵な国に出会い、最高の留学生生活を送れたことに感謝して、留学生生活で築いた様々な縁を大切にしていきたいです。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

今後は、環境先進国の多いヨーロッパでの留学経験を踏まえて、EU や北欧の国が行っている環境政策や、企業の取り組み、サステナビリティについて更に詳しく調べ、卒業論文の執筆につなげたいと思います。

自分が将来何をしたいか、どんな職種に就きたいかは、未だ明確ではありませんが、この留学経験を活かして、外国語を使う国際的な環境で働けたらいいなと考えるようになりました。特に日本と世界をつなげる仕事に興味があります。留学中、様々な国へ旅行に行き、様々な国籍の人と会話をして感じたことは、日本の技術力や日本人の繊細さはどこの国にも劣らず、まだまだ世界にアピールできる日本の強みが沢山あるということです。しかし、他国と比べると、やはり日本は閉鎖的で、英語力の低さも際立ちます。そこで、私はこの留学期間で身についた何事にも恐れず挑戦できるチャレンジ精神を活かして、世界に出てもっと日本の強みを広めていけたらいいなと思っています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

私は、大学生のうちに1年間海外留学をする選択をして、本当に良かったと感じています。これまで一人暮らしもしたことがなかったため、1年間の間、家族や友人と離れて暮らすことに初めは不安を感じていました。また、英語も堪能に話せるわけでは無く、当時は自分に自信もなかったため、親や親戚にも心配されていました。しかし、実際に行ってみると、想像以上にどうにかなるものです。日本では内気で人見知りの性格でしたが、見ず知らずの世界では、一人では何もできないため、自然に自分から人に話しかけられる積極性がつきました。また、外国語がうまく話せなくても、身振り手振りで伝えれば、コミュニケーションは成り立ちます。日本のように周りの目を気にする必要はなく、思いっきり挑戦できる環境が広がっています。そして、留学中は毎日毎日の時間を貴重に過ごして欲しいです。私の場合、海外生活という非日常的な環境に感謝することが行動力にも繋がりました。留学中は、少し面倒くさいと思っても、外に出て、人と話してみてください。自分から積極的に行動すれば、必ず何かを得られます。私は毎日が学びの連続でした。学生のうちなら、どれだけ失敗しても、周りの人々は優しい目で見守ってくれます。大人になってからと体力のある若いうちに留学するのでは行動範囲が大きく変わってくると思います。吸収力も違います。価値観も広がり、今後の人生がより豊かになると思います。少しでも留学に興味がある方はぜひ大学生のうちに留学に挑戦してみてください。